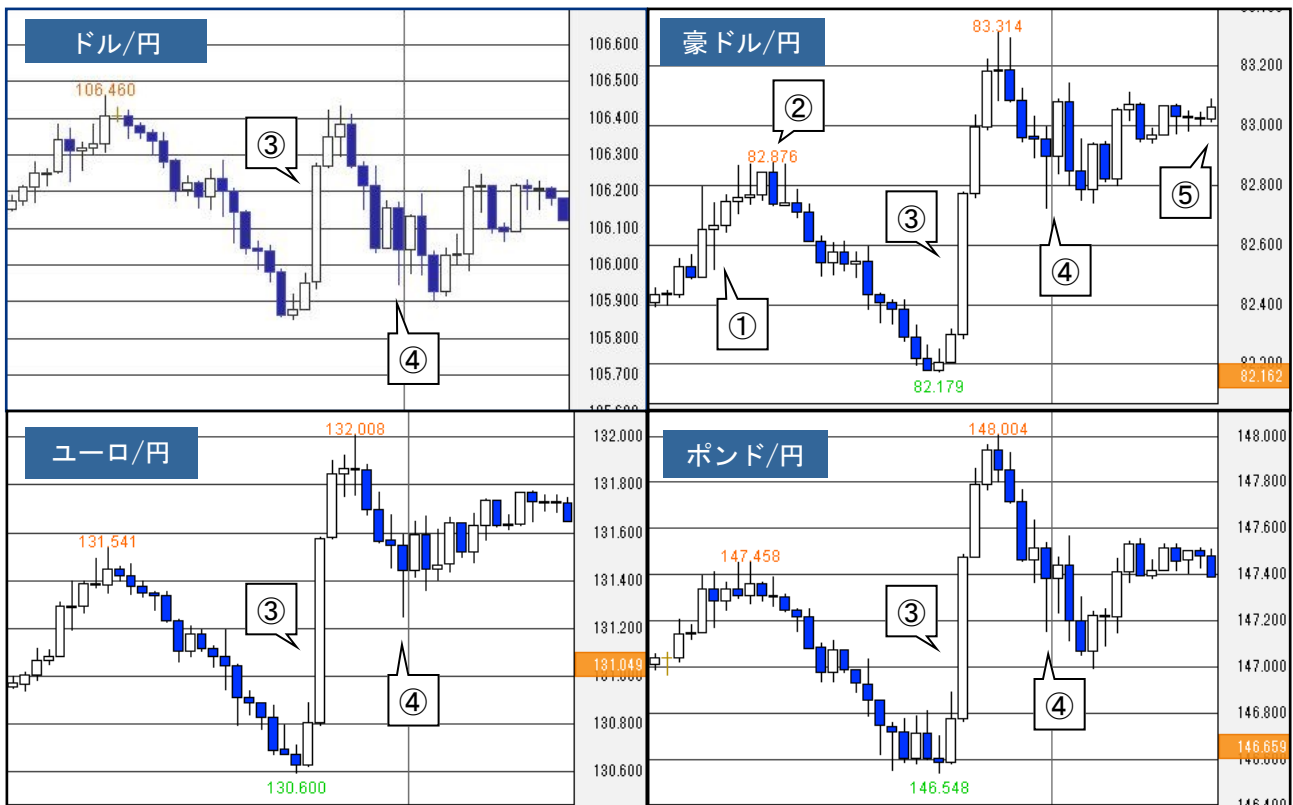


3月7日(水曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 米NEC委員長が辞任でリスクオフ

### 6日(火)の為替相場



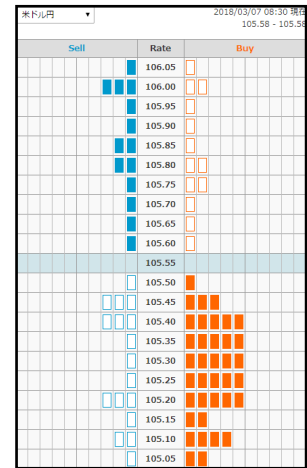
期間：6日(火)午前7時10分～7日(水)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪1月小売売上高は前月比+0.1%にとどまり市場予想(+0.4%)に届かなかった。ただ、アジア株がほぼ全面高となる中、豪ドル売り材料にはならなかった。
- ② 豪中銀(RBA)は政策金利(1.50%)の据え置きを発表。声明では「政策スタンスを変更しないことが経済の持続可能な成長と、時間をかけてインフレ目標を達成することに一致すると判断」「低水準の政策金利が豪経済を引き続き支えている」「失業率の低下とインフレの目標達成にさらなる進展が期待されるが、進展は緩やかである可能性」などとする見解が示されたが、前回の声明を概ね踏襲した内容だった事もあって豪ドルの反応は限定的であった。
- ③ 北朝鮮と韓国が4月末に首脳会談を開催する事で合意したと報じられた。また「北朝鮮は体制の安全が保障されるならば非核化にオープン」「協議が続く限り、北朝鮮はミサイル・核実験をしないと表明」などと伝わった。これを受けて朝鮮半島の地政学リスクが後退したとの見方から円売りが優位となった。
- ④ トランプ米大統領は、鉄鋼・アルミの輸入制限を最終的に決定した場合、コーン国家経済会議(NEC)のコーン委員長が辞任するかもしれないとの考えを顧問らに示したと報じられた。自由貿易派のコーン委員長の辞任観測を受けて、米国株が一時軟化するとドル/円やクロス円は反落した。
- ⑤ ロウRBA総裁は「当面は政策調整の強い論拠は見当たらない」としながらも「次の金利の動きは引き下げより引き上げとなる可能性」「豪ドル相場は適正水準に極めて近い」などと発言した。

6日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21417.76 △375.67	5962.437 △67.405	3289.642 △32.716	7146.75 △30.77	12113.87 △23.00
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24884.12 △9.36	0.0560% △0.0130	2.822% △0.078	1.521% △0.025	0.675% △0.032
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.2499% △0.0121	2.8863% △0.0055	62.60 △0.03	1335.20 △15.30	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	104.700-106.200	130.300-131.800	81.400-82.700	145.800-147.500

【ドル/円】

本日のオープン直後に、コーン米国家経済会議(NEC)委員長が辞任すると伝わり、ドル安・円高に振れている。コーンNEC委員長は自由貿易派として知られ、8日には関税賦課の阻止に向けてホワイトハウスで会合を行う予定だった。コーン委員長はトランプ大統領の信頼も厚いと見られていただけに、大統領には今回の関税案を撤回する意思がないという見方にも繋がる。

この報道を受けてドル/円は105円台半ばへと下落しており、2日に付けた約1年4か月ぶりの安値105.251円を意識せざるを得ない展開となっている。これを下抜ければ、その勢いで節目の105円を割り込む可能性もあるだろう。

良識派の米NEC委員長の辞任によってリスク回避ムードが広がる中、本日のドル/円は、主要国の株価動向がカギを握る事になりそうで、まずは日本株の動きが注目されよう。

執筆者: 神田

本日から明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
3/7(水)	10:30		(米) カプラン・ダラス連銀総裁、講演	—	—
	19:00		(ユーロ圏) 10-12月期GDP・改定値(前年比)	+2.7%	+2.7%
	22:00		(米) ポスティック・アトランタ連銀総裁、講演	—	—
	22:15	◎	(米) 2月ADP全国雇用者数	+23.4万人	+20.0万人
	22:20		(米) ダドリーNY連銀総裁、講演	—	—
	22:30	○	(米) 1月貿易収支	-531.0億USD	-550.0億USD
	22:30		(米) 10-12月期非農業部門労働生産性・確報(前期比)	-0.1%	-0.1%
	22:30		(米) 10-12月期単位労働コスト・確報(前期比)	+2.0%	+2.1%
	24:30		(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	28:00		(米) 米地区連銀経済報告(ベージュブック)	—	—
	29:00		(米) 1月消費者信用残高	+184.47億USD	+176.50億USD
3/8(木)	08:50		(日) 10-12月期GDP・2次速報(前期比年率)	+0.50%	+1.00%
	09:30	○	(豪) 1月貿易収支	-13.58億AUD	+1.60億AUD

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総研研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。